

## 令和6年第1回伊丹市議会(定例会)

### 代表質問発言通告者順位表

令和6年2月29日(木)

発言順位	会派名	議員名	発言予定時間
1	新政会	泊 照彦	10時00分～11時50分
2	公明党	篠原 光宏	13時00分～14時50分
3	伊丹維新の会	大江 広人	15時20分～17時10分

令和6年3月1日(金)

発言順位	会派名	議員名	発言予定時間
1	フォーラム伊丹	高橋 あこ	10時00分～11時50分
2	創政会	川井田清香	13時00分～14時50分
3	日本共産党 伊丹市議会議員団	服部 好廣	15時20分～17時10分

※ 議事の都合により、発言時間が変更となることがありますのでご注意ください。

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
1. 『教育・子育て支援に関して』	
①子育て施策・教育のさらなる充実	
②文系、理数系はいつから分かれたのですか、分ける必要性はあるのですか。	
③教職員を目指される学生が年々減少する問題	
④学校校務D X化の近況	
⑤学校体育館空調設備の整備	
2. 『市内製造企業の転出増に伴い、今後の税収の見込みや将来の市財政への影響』	
①4年～5年前から伊丹市の人口減の傾向が見られる。製造企業の市外転出の動きの中で、市税への影響はないのですか。	
②市有地を含め、伊丹市の資産はどのくらいあるのですか。	
③適正な財政調整基金の残高は。市民にとって必要な事業に使用は当然でも災害対応に備え、さらに積立が必要か、現状の財調は貯まり過ぎか。	
3. 『2024年春闘が齎す市税への影響、仮に5%以上の名目賃金の実現した場合、伊丹市の税収に、どれだけの増収に繋がるのですか』について	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	藤原市長、坂本副市長、木下教育長、各事業管理者、各関係部長

上記のとおり通告します。

令和6年2月27日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 泊 照彦

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
4. 『2024 年企業活動に関する法令とルールが変わります』	
①正規職員のみならず非正規職員、パート、障がい者の就労賃金も引き上げが必要。	
5. 『伊丹市の行政DXはどこまで進んでいるのですか』	
6. 『国の制度見直しを受けて介護保険制度はどのように変わるのですか』	
7. 『統合新病院事業運営』	
8. 『交通事業運営』	
①乗務員の働き方改革と今後の人手不足への解消策について	
9. 『市内小規模企業への経営応援を考慮されていますか』	
10. 『能登半島地震の救援活動から習得した災害対応、今後の伊丹市の防災機能に繋がる情報は得られたのですか』	
①現地震災害後の救援活動の困難さをどう考えるのか。	
②阪神・淡路大震災、新潟県中越大震災、東日本大震災、熊本地震等の災害の違いとは	
③今後発生が予想される南海トラフ地震対策に参考となることとは	
④それぞれ市内備蓄倉庫の災害対策物資や食料は十分な量を確保できているのですか。	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	藤原市長、坂本副市長、木下教育長、各事業管理者、各関係部長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27 日

伊丹市議会議員 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 泊 照彦

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
1	伊丹市の未来を見据えて市政において今、なすべきこと、今後の進むべき方向について
2-1	伊丹市の行財政プランについて
2-2	市の貯金である財政調整基金について
大綱1 安全・安心	
3	新庁舎敷地内の中央に整備される市民広場の地下の倉庫について
大綱2 育ち・学び・共生社会	
4-1	学校給食無償化等事業
4-2	学校給食における有機野菜等活用事業
4-3	中学校部活動の地域移行推進事業
4-4	伊丹市の英語教育の取り組み
4-5	夏季自由プール事業
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、各事業管理者、関係部長、選挙管理委員会委員長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27 日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 篠原 光宏

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
大綱3	健康・医療・福祉
5	国民健康保険について
大綱4	市民力・にぎわい・活力
6	高齢者・障がい者の地域活動について
大綱5	環境・都市基盤
7	ゼロカーボンシティの実現に向けて
大綱6	参画と協働・行政経営
8	期日前投票所の拡充事業
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、各事業管理者、関係部長、選挙管理委員会委員長

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27 日

伊丹市議会議員 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 篠原 光宏

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
1. 令和6年度の市政運営について	
1) 市政運営の転換	
2) 次世代に負担を先送りしないための市債と基金の公平な使い方	
2. 政策大綱1 安全・安心について	
1) 阪神・淡路大震災30年啓発事業を契機にした新たな取り組み	
2) 物資備蓄事業での市民との連携	
3. 政策大綱2 育ち・学び・共生社会について	
1) 令和6年度4月における8年連続待機児童ゼロへの見込み	
2) 放課後児童クラブの充実への取組	
3) 有機栽培による米や野菜の学校給食への活用	
4) 不登校対策パッケージによる連携とその効果	
4. 政策大綱3 健康・医療・福祉について	
食育推進事業への取り組み	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、副市長、教育長、事業管理者、関係部長 及び選挙管理委員会委員長

上記のとおり通告します。

令和6年2月27日

伊丹市議会議長      戸田 龍起 様

伊丹市議会議員      大江 広人

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
5. 政策大綱4 市民力・にぎわい・活力について	
伊丹市PR活動方法	
6. 政策大綱5 環境・都市基盤について	
1) モビリティ・マネジメント推進事業	
2) 昆陽池公園の多目的広場トイレとマンホールトイレの維持管理	
3) 点字ブロックと歩道整備の今後	
4) 水道管路A I劣化予測診断事業の効果と将来の展望	
5) 人工衛星画像を活用した広域漏水調査事業のメリットと今後の展望	
7. 政策大綱6 参画と協働・行政経営について	
1) ICT活用の評価と職員への負担	
2) 期日前投票所の拡充事業の効果と周知方法	
3) 職員確保事業の対象者へのアプローチと受入れ部署の拡充	
以 上	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、副市長、教育長、事業管理者、関係部長 及び選挙管理委員会委員長

上記のとおり通告します。

令和6年2月27日

伊丹市議会議員    戸田 龍起 様

伊丹市議会議員    大江 広人

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
<p>1. 第6次伊丹市総合計画では、令和42年(2060年)には伊丹市人口は約17万人と予測しているが、昨年4月に国立社会保障・人口問題研究所は総合計画より10年早く2050年には人口約17万人ぎりぎりになると予測している。急速に人口が減少し、社会が縮小に向かう時代になる。今後、市民生活は激変することが予測される。 長期的な展望をもった今打つべきまちづくり対策は何か市長に問う。</p>	
<p>2. 大綱1 安全・安心</p> <p>【防災について】</p> <p>能登半島地震を経て、誰もが防災について自分事として考えることとなった。 29年前の阪神・淡路大震災から伊丹の防災が進化していることは何か、また能登半島地震から得た教訓から見えてくる今後の課題について伺う。</p>	
<p>3. 大綱2 育ち・学び・共生社会</p> <p>【不登校について】</p> <p>「令和6年度伊丹市教育基本方針」の中で、不登校児童生徒への対応は、取り組まなければならない最重要課題の1つだととらえられている。 不登校児童生徒の対応が今とどう変わるのか、今後の展望を含めて伺う。</p>	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、事業管理者、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27日

伊丹市議会議長      戸田 龍起      様

伊丹市議会議員      高橋 あこ



# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

## 発 言 の 要 旨

### 【多文化共生について】

今後、来日する労働者やその家族のさらなる増加が見込まれるなかで、これら外国人に共感する児童福祉、女性福祉、地域福祉など、多分野にまたがる複合的支援が今後ますます必要となってくる。

外国にルーツを持つ方々に対する支援策を伺う。

### 4. 大綱3 健康・医療・福祉

#### 【高齢者福祉について】

伊丹市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)が策定され、今議会で介護保険基準額が5200円から7200円と大幅増となる条例が上程されている。

状況と対策を伺う。

認知症の人が安心して暮らせるための国や自治体の取り組みを定めた認知症基本法が1月1日に施行された。

本市での取り組みについて伺う。

#### 【病院について】

統合新病院が令和8年度に開院、令和9年度にグランドオープンする。

統合新病院の人材確保、職員のスキルアップ、工事の進捗、近畿中央病院跡地説明会について、伺う。

方 式

総括方式       一問一答方式

答弁を求める者

市長、教育長、事業管理者、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27日

伊丹市議会議長      戸田 龍起      様

伊丹市議会議員      高橋 あこ

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
<p>5. 大綱4 市民力・にぎわい・活力</p> <p><b>【市民力・地域力】</b></p> <p>地域では、自治会加入率が50%台となり、主体となって動く自治会や地域自治組織の高齢化が進んでいる上に役員のなり手不足が顕著な状況である。</p> <p>各地域に地域資源をコーディネートして課題解決できるような人材を置くことを提案するが見解を伺う。</p> <p>地域の課題解決や魅力向上に向けて、「何かをしたい」と思った人・団体がより活動できるように、市がその活動を応援し、事業経費の一部を助成する制度を創設することを提案するが見解を伺う。</p>	
<p>6. 大綱5 環境・都市基盤</p> <p><b>【伊丹市営バス】</b></p> <p>昨年11月に阪急バスは路線バス4路線について運転手不足を理由に廃止を決定し市民生活や社会経済活動に影響が出ている。バス運転者の不足は地域社会にとって重大な問題である。</p> <p>現在、市バス乗務員の欠員と年齢構成はどのような状況となっているのか、またその課題を伺う。</p> <p>乗務員確保について今後の見通しと、その課題を伺う。</p>	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、事業管理者、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27 日

伊丹市議会議長      戸田 龍起      様

伊丹市議会議員      高橋 あこ

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
<b>7. 大綱6 参画と協働・行政経営</b>	
<b>【参画と協働】</b>	
<p>地域では課題が多様化・複雑化し、行政では業務内容が増加する一方で職員数が限られる状況にあります。市・NPO・団体などの様々な主体が連携・協働するには、市にはコーディネーターとしての役割が期待される。</p> <p>関係部署、また市民団体・市民との間に入り、お互いが協働し、共通のゴールに導くために双方の話を聞きながら、どちらが何を分担するか丁寧に切り分けを実施し合意形成、利害調整を実施する、協働に伴走してくれるコーディネーター的存在が市に必要と考えますが、見解を伺う。</p> <p>パブリックコメントへの市民の参加をみていると、市民の市政への関心は高いとはいえない。市政への関心を高めるには、市政への参加意欲の高揚、市民・行政間における対話の促進が必要と考える。</p> <p>行政の資源配分を決める重要な政策過程に住民が直接関与する、例えば、杉並区で行われているような住民参加型予算枠の創設を提案するが見解を伺う。</p>	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、事業管理者、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27 日

伊丹市議会議長      戸田 龍起 様

伊丹市議会議員      高橋 あこ

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
<p><b>【行財政】</b></p> <p>この度、中学校給食無償化は財政調整基金の取り崩しで実施される。しかし、この取り崩し根拠となると分かりづらい。</p> <p>地方財政法第4条の4における、積立金処分理由のどれが適応されるのか伺う。</p> <p>無償化を制度的に継続するのなら、それを年度間の財源調整や災害時の臨時的財源となる財政調整基金を取り崩すのではなく、経常一般財源から予算化するべきと考えるが見解を伺う。</p>	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、事業管理者、担当部長、など

上記のとおり通告します。

令和 6 年 2 月 27 日

伊丹市議会議長      戸田 龍起      様

伊丹市議会議員      高橋 あこ

# 発言通告書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
<b>1、施政方針を踏まえて</b> ・地域医療提供体制の構築に向けて	
<b>2、行財政プランの取り組みについて</b> ・「事務事業の見直し・効率化、組織力の強化」「公共私協力関係構築」「公営企業等の経営改革」における取り組み ・令和6年度の取り組み効果額の内訳 ・投資的・政策的経費に係る一般財源、投資的経費に係る市債発行額の財政規律に対する取り組み ・学校給食無償化の財源確保 ・基金の積立・処分の基準見直しの方向性	
<b>3、災害対策について</b> ・令和6年能登半島地震への支援状況と教訓を踏まえた災害対策 ・阪神・淡路大震災 30 年啓発事業 ・防災啓発・防災教育の取り組み ・都市の防災構造化 ・住宅・多数利用建築物の耐震化率 ・簡易耐震診断推進事業、住宅耐震化促進事業、耐震化啓発	
<b>4、消防・救急体制について</b> ・消防通信設備等運営事業 ・消防・救急事務のデジタル化 ・消防局公式インスタグラム	
<b>5、介護保険事業について</b> ・介護保険料の基準引き上げ ・地域密着型施設整備 ・介護認定審査会の簡素化 ・業務の ICT 化	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長・副市長・教育長・事業管理者・担当部長

上記のとおり通告します。

令和6年2月27日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 川井田 清香

# 発言通告書

( 質 問 )

## 発 言 の 要 旨

### 6、学校教育・子育て支援について

- ・教育基本方針を踏まえて
- ・学校体育館空調設備整備事業
- ・学校給食における有機野菜等活用事業
- ・オーガニックビレッジへの取り組み
- ・子ども電子図書館事業
- ・学校図書館の活性化、学校司書のあり方
- ・デジタル教材の活用状況とデジタル教科書の導入拡大
- ・教職員のデジタルスキル向上とITリテラシー習得施策
- ・教育DXによる教職員等の働き方改革、ICT支援員配置の拡充、教育DX人材の育成
- ・民間児童クラブ誘致事業

### 7、道路、橋梁等のインフラ整備・補修について

- ・道路維持補修事業の共同空洞調査
- ・インフラ通報システム
- ・橋梁長寿命化事業、コスト縮減への取り組み
- ・荒牧トンネル拡幅工事
- ・都市計画道路整備事業(山田伊丹線)

方 式

総括方式     一問一答方式

答弁を求める者

市長・副市長・教育長・事業管理者・担当部長

上記のとおり通告します。

令和6年2月27日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 川井田 清香

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨	
1, 市長の情勢認識について伺う	
・「住み続けたいまち」への施策充実への見解を伺う	
・憲法9条を生かした平和外交を ASEAN の取り組みを生かして	
2, 来年度予算における伊丹市政の課題	
1)伊丹市の防災体制について	
ジェンダー平等に配慮した避難所の改善を図るために	
①避難所の備蓄とペット同行避難等への対応	
②防災関連部署の女性職員の配置	
2)子育て・若者支援について	
①給付型奨学金の創設、就学援助制度における対象拡大と支給額の拡大を	
②「子どもの権利条約」が子育ての強い柱となるよう、重視することを求める	
3)新型コロナウイルス感染症の5類への移行と、伊丹市民への影響について	
①市立伊丹病院は経営上どのような影響を受けたか	
②県に対し地域医療構想の見直しを求めることも含め、見解を求める	
方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 総括方式 <input type="checkbox"/> 一問一答方式
答弁を求める者	市長及び教育長並びに関係部長

上記のとおり通告します。

2024年 2月 27日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 服部 好廣

# 発 言 通 告 書

( 質 問 )

発 言 の 要 旨
4) 自衛隊への18歳・22歳の青年の個人情報の提供について
①伊丹の青年の未来を危うくするものであり、見直しを求める
②少なくとも、住基4情報の提供に対して「除外申し出制度」をつくること
5) 高すぎる国民健康保険税引き下げのために
①国に更に1兆円の負担を求めることへの見解を伺う
②子どもの均等割りをなくすことへの見解を伺う
6) 難聴高齢者の支援に関して、伊丹市として助成すること
①国に対して補聴器購入補助制度を求めるとともに、市の助成への見解を伺う
②ヒアリンググループを公共施設に常備することへの見解を伺う
7) 住みよい住環境を提供する市営住宅政策と、家賃補助制度創設を
①市営住宅は戸数を減らさず、必要な戸数を維持し、順次建て替えを行うこと
②民間空き家対策を含めての「家賃補助制度」を設けること
3, 大手前大学跡地マンション建設に関して
①事業者は稲野公園への落下物による危害防止を怠っているのではないか
②「隣地」である稲野公園管理者である伊丹市は、どのような努力をしているか
③伊丹市は稲野公園利用者の安全を守るために何をなすべきと考えるか
④稲野公園利用者の安全確保のための「継続協議」はどうなっているか
⑤特定行政庁として事業者への対応について伺う

上記のとおり通告します。

2024年 2月 27日

伊丹市議会議長 戸田 龍起 様

伊丹市議会議員 服部 好廣